

新技術・情報名	水稻「初星」の奨励品種採用		
実施場所	三重県農業技術センター	分類	①

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

適用地域では

- (1) 出穂期、成熟期とも「トドロキワセ」とほぼ同時期の極早生うるち種である。
- (2) 登熟期の草型は、「トドロキワセ」より短稈、長穂、穂数やや少ない偏穂重型品種である。稈は「トドロキワセ」よりいくぶん太く、稈質は強じんて倒伏に強い。
- (3) 葉・穂いもちともに「トドロキワセ」よりやや弱い、白葉枯病には「トドロキワセ」より強く、こま葉枯病、紋枯病は同程度である。
- (4) 収量性は、各地の試験結果から「トドロキワセ」に比較してそん色なく、比較的高い。
- (5) 玄米は「トドロキワセ」より粒大やや大きく、腹白少なく、光沢に富み、みかけの品質は同程度かやや優れる。ただし、早期米としては高温登熟性が劣り、年次により心白、乳白米の発生がいくぶん見られるのが難点である。
- (6) 食味は「トドロキワセ」にまさり、早期米としては佳良である。

2) 技術・情報の適用効果

近年の米流通市場は、自主流通米の販路拡大が進むにつれて、良質・良食味米の需要要望が極めて強くなってきた。本県の極早生種には「トドロキワセ」を中心に「こしにしき」「トヨニシキ」等が県下全域平坦部の早期栽培地帯に約1,000 haが作付けされているが、流通上、品質・食味が不評である。そこで極早生種で良食味の「初星」を採用することにより、収量ならびに経営の高位安定化を図るとともに「コシヒカリ」地帯の作期巾の拡大による労力、機械施設の効率化が図られる。

3) 適用範囲

北・中南勢の平坦部ならびに太平洋沿岸地帯の早期栽培地帯、「トドロキワセ」に全面的におきかえて約1,000 haの作付けを見込む。

4) 普及・利用上の留意点

- (1) 分けつが少なく、穂数の確保が難しいので、やや密植にして穂数の確保につとめる。
- (2) 葉・穂いもちも抵抗性は「中」程度、紋枯病にも「やや弱い」ので作付率が高くなると発生が懸念されるので適期防除を励行する。
- (3) 倒伏には比較的強いが、極端な多肥は葉勝り的な生育を招き、倒伏、病害の発生を助長し、米質にも悪影響を及ぼすので注意を要する。
- (4) 登熟期の高温年次には、背白、心白、乳白米が発生することがあるので、早期落水をさける。

(作物部育種研究室 橘 尚明・服部 英樹)
(伊賀農業センター 児玉 幸弘・渡辺 公夫)

2. 具体的データ

表1. 生育・収量調査成績

実施場所	品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏	わら重	精玄米重	同左比率%	とう精歩合	玄米千粒重	玄米品質	いもち病	紋枯病
		月日	月日												
本場	初星	7.19	8.21	77	17.8	433	0	56.7	56.3	102	89.1	22.8	3.8	0.3	1.1
	(比)トドロキワセ	7.18	8.21	86	16.6	447	1.3	59.5	55.3	100	88.7	22.2	4.2	0.3	0.7
	(参)こしにしき	7.16	8.18	84	17.4	476	2.3	58.7	52.2	-	88.4	22.5	3.8	1.0	1.7
	(参)コシヒカリ	7.24	8.28	89	18.2	458	2.3	66.2	56.6	-	89.4	21.5	2.8	1.2	1.3
伊賀	初星	7.24	8.27	79	17.4	476	1.1	61.4	59.6	102	-	22.3	4.4	0.1	0.9
	(比)トドロキワセ	7.24	8.27	86	16.0	474	1.5	63.7	58.4	100	-	22.0	4.2	0	0.8
	(参)こしにしき	7.20	8.22	81	16.7	480	1.7	55.9	53.1	-	-	23.1	4.0	0.1	0.8
	(参)コシヒカリ	7.30	9.6	88	18.2	462	1.9	71.5	61.5	-	-	21.4	4.2	0.9	0.8

注) 本場、伊賀とも昭和58~63年の平均、移穂期: 本場4月23日、伊賀5月12日

表2. 現地試験成績(昭和58~63年平均)

実施場所	品種名	移穂期	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏	わら重	精玄米重	同左比率%	玄米品質	いもち病	紋枯病
		月日	月日	月日										
桑名	初星	4.29	7.23	8.26	73	18.1	554	0	51.5	50.0	103	3.5	0.3	3.0
	(比)トドロキワセ	7.22	8.23	80	17.0	610	0	55.6	48.6	100	3.0	0.3	3.0	
鈴鹿	初星	5.10	7.24	8.21	77	17.6	479	0	60.6	50.4	107	3.0	1.0	2.0
	(比)トドロキワセ	7.22	8.21	84	15.8	454	1.5	60.6	47.1	100	3.0	0.8	3.0	
河芸	初星	5.3	7.21	8.20	77	17.4	397	0	46.6	49.3	93	3.3	1.0	1.0
	(比)トドロキワセ	7.21	8.21	81	16.0	425	0	53.5	53.2	100	4.0	1.7	0.7	
大内山	初星	5.7	7.28	8.2	71	17.6	416	0	50.2	47.8	109	3.7	0.5	2.2
	(比)トドロキワセ	7.27	8.1	79	15.7	463	0	52.5	38.5	100	4.0	0.2	2.0	
志摩	初星	4.28	7.19	8.23	73	19.4	421	0.7	48.9	53.2	96	3.3	0.4	1.2
	(比)トドロキワセ	7.18	8.23	81	17.3	456	1.7	51.2	54.1	100	3.7	0.5	2.2	
熊野	初星	5.11	7.25	8.27	68	17.9	424	0	48.9	49.6	106	3.0	0.5	2.5
	(比)トドロキワセ	7.24	8.25	76	17.0	445	0	52.5	46.1	100	4.0	0.3	2.7	

表3. 食味試験成績

実施年度	基準品種	試験品種	総合評価	外觀	香り	味	厚さ	粘り
62年 24名	コシヒカリ	初星	-0.17	0.13	-0.20	-0.37	-0.04	0.00
		トドロキワセ	-0.54	-0.79	0.17	-0.42	-0.29	-0.29
		チヨニシキ	-0.25	-0.46	-0.33	-0.29	-0.33	-0.29
61年 24名	大空	初星	0.42	0.04	-0.04	0.38	-0.46	0.38

注) 農技センター産米、パネルはセンター職員。

3. その他特記事項

研究課題名 奨励品種決定調査 予算区分 国補 (1/2)
期間 昭和58年~63年